

受精研究の最前線！！

特別セミナー

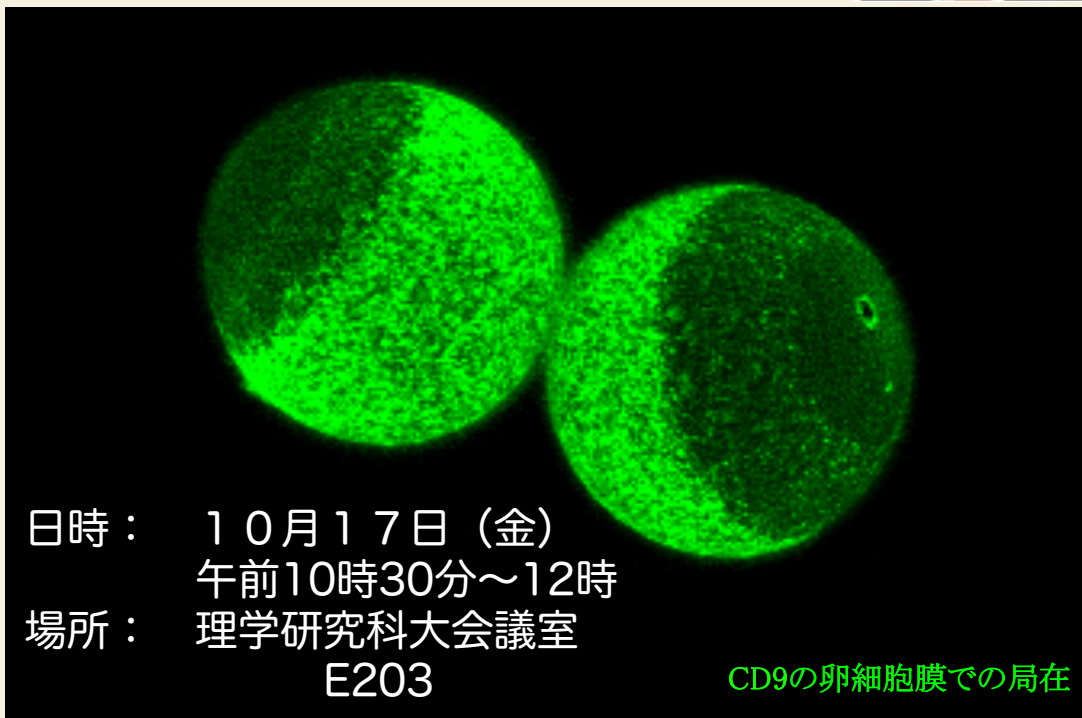
精子と卵子の膜融合のメカニズム

宮戸 健二 氏

(独) 国立成育医療研究センター
生殖・細胞医療研究部 室長



皆様奮ってご参加下さい



日時： 10月17日(金)
午前10時30分～12時

場所： 理学研究科大会議室
E203

CD9の卵細胞膜での局在

遺伝子改変動物の解析により、受精研究のなかで長年未知であった精子と卵子の膜融合をそれぞれ制御する因子が同定された。精子側のIZUMO1については、その分子構造や局在変化について詳細な研究がなされ、卵子側のCD9については、CD9を含む小胞(エキソソーム)が未受精卵から分泌され、精子に付着することで、融合能を付与していることが明らかになった。受精の膜融合に関する最近の知見を紹介する。

本セミナーは
5研究科共同セミナーです

研究拠点代表：吉村幸則(生物圏科学研究科)
問い合わせ先：三浦郁夫(理学研究科 内7323)